



令和7年6月30日

コミュニティ・スクールだより

令和7年度第2回目の協議会を開催しました



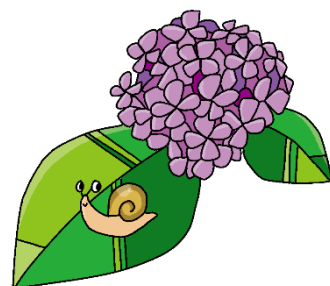
6月11日（水）に令和7年度第2回学校運営協議会を開催しました。

会のはじめに、校長が「グランドデザイン」「学年団別重点目標」を示し、校内視察の視点について説明しました。また、本年度浜松市教育委員会に指定された研究（研究主題「温かな学校・学級風土があふれる楽しい授業づくり」）の発表があることを報告しました。

委員の皆さんには、以上の点を踏まえ、参観会に参加していただきました。

《第2回学校運営協議会 式次第》

- 1 校長挨拶、校内視察の視点 2 校内視察 3 会長挨拶 4 議長の選出
- 5 前回会議録確認
- 6 熟議
 - (1) 参観会視察について
 - (2) 本年度教育の重点について「見つめる力」「関わる力」
 - (3) 課題の整理と改善の方向性について
 - (4) 学校評価について
- 7 報告 8 連絡



《熟 議》

☐ 学校運営協議会委員

☐ 学校職員

(1) 参観会視察について

全体的に静かに話を聴いていました。保護者に声を掛けたら、どの方も先生方を褒めていました。改めて東小は良い学校だと思いました。

先生方の工夫が感じられる授業だった。保護者参加型の参観会はとても良いと思いました。親子で玉止めに取り組む姿が微笑ましかったです。

学年によって、それぞれの成長度合いが感じられました。低学年でも、話している人の方を見て話を聴いていました。

グループ活動は、自分たちで考えて行動するために良い取り組みですね。

学年ごとに雰囲気違ったが、高学年は大人の雰囲気をまとっていました。新年度は始まって2か月ですが、どのクラスもまとまっていたように思います。



(2) 本年度教育の重点について「見つめる力」「かかわる力」

(3) 課題の整理と改善の方向性について

「かかわる力」で、相手の意見をきちんと聴くことができていると感じます。「かかわる力」を熟成していくために、参観会や行事において、親子の関わりを持つ機会を増やしていくと良いのではと思いました。

「かかわる力」は、「自分の意見を言う」「相手の意見を聴く」といったコミュニケーションをしっかりとれるようにすることが土台です。あいさつ運動の様子を見ると、もう少し元気な挨拶がほしいと思います。

いろいろな性格の子供がいるので、まずはこちらから声をかけてあげることが大切ですね。



保護者は、子供の内面的な成長をどのくらい把握しているのでしょうか？

子供に対して親が遠慮してしまう時もあるのではないのでしょうか。家庭で親子の温かさを感じられる機会がもっとあるといいですね。

子供との関わりが持てると親もうれしく感じます。関わりを持つことを意識的に行わなければいけないと思います。

(4) 学校評価について

本年度もグランドデザインに示した重点目標を、学校評価の項目とします。グランドデザインに示されている目標は、高学年の目標なので、低・中学年には、それぞれに示した目標を使います。保護者には、自分の子供の姿で回答していただきます。次回の学校運営協議会でその内容や改善策を提示し、熟議を通してその後に生かしていきたいと思います。

7 報告

○福祉について学習している4年生を対象に、「認知症サポーター養成講座」を9月に行います。

○今後も学校が必要としている支援について、地元の方との連携を図っていきます。

8 連絡

○次回第3回学校運営協議会開催日程確認

9月8日(月) 9:00～10:30

本校 会議室

その他

○学校運営協議会はいつでも傍聴できます。御希望の方は、学校まで(452-3137)お知らせください。

